

万倉音頭

作詞 伊藤 勇
 作曲・編曲 山本 達八
 振付 榊原 麻里
 歌 頼田 有梨

- 一 まぐらすみたや 花咲く里は
 つつじ咲くところ 恋も咲く
 茄子の花にも 福がなり
 秋は黄金の 秋は黄金の
 波がしら 波がしら
- 二 まぐらすみたや 文化の里は
 赤間硯に 知恵みがく
 岩戸神楽に 福が舞い
 国司信濃の 国司信濃の
 男意気 男意気
- 三 まぐらすみたや いついつまでも
 住めば都の ふるさとは
 情け深さに ほだされて
 老いも若きも 老いも若きも
 恵比寿顔 恵比寿顔

“万倉中心部の昔と今”



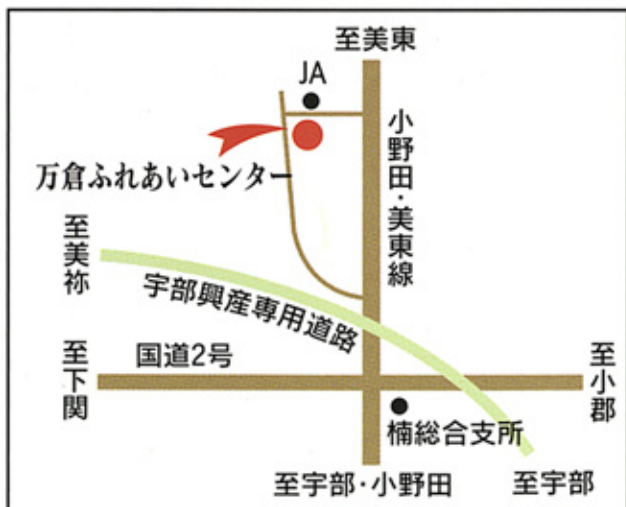
昭和34年 当時の万倉駅



昭和35年 学校周辺



現在の万倉ふれあいセンター周辺



- 小郡・山口南・小月ICから車で・・・30分
- 宇部・小野田ICから車で・・・15分
- JR小郡駅から車で・・・30分
- JR宇部・小野田・厚狭各駅から車で・・・15分
- 山口宇部空港から車で・・・35分

“万倉の農産物”



はなっこりー



万倉なす



パセリ

■制作 万倉校区まちづくりサークル
 ■発行 宇部市教育委員会
 平成21年(2009年)3月